

取り組み

その①

# 介護する家族の負担を減らす「介護 SOS サービス」 電話一本で介護をお手伝いします



急に手助けが必要になった時にもすぐに対応してもらえるので、ありがたいですね

問 長寿社会課 (☎027-321-1319)

**介**護の手助けが必要になった時、電話1本で24時間365日すぐに対応するのが「介護SOSサービス」です。介護する家族の負担を減らし、介護による離職をなくすための本市独自の取り組みです。介護福祉士などが駆け付ける訪問サービスと、被介護者の宿泊サービスがあります。

利用できるのは、次の①②に当てはまる場合です。  
①被介護者が市内に在住し、住民登録のある65歳以上  
②家族などの介護者が介護の手助けが必要な状況にある

介護認定や登録などは必要ありません。介護者が市外に住んでいる場合も利用できます。

申し込みは、ご利用専用ダイヤル (☎ 027-360-5524) へ。24時間365日、介護の専門職員が対応します。利用者の健康状態や介護の程度などを聞き取り、訪問・宿泊サービスを手配します。

## サービスは「訪問」と「宿泊」

いずれも、費用の支払い方法は、申し込みの時に確認してください。

### 訪問サービス

介護福祉士などが原則2人で訪問。利用者を確認し、必要なサービスを提供します。

●内容＝食事の準備・調理、見守り、入浴や排せつの介助、通院など外出の同行、掃除や洗濯、買い物、衣類やシーツの交換など ●費用＝1時間250円 ●利用回数＝1か月5回まで

### 宿泊サービス

短期の宿泊で食事や入浴を提供します。社会福祉法人新生会（中室田町）とホテルサンコー（吉井町岩崎）の2か所が利用できます。着替えや洗面用具など宿泊に必要な物は、利用者が用意してください。

●内容＝短期の宿泊、食事、入浴 ●費用＝1泊2食付き2,000円、1泊2食・送迎付き3,000円  
●利用回数＝1か月3回まで（1回の利用は2泊まで） ●入館時間＝午前8時から午後8時まで



詳しくはこちら



## 介護SOSサービスご利用専用ダイヤル

GOGO! にじゅうよじかん

# ☎ 027-360-5524

\*介護の専門職員が必要な情報を聞き取り、訪問、宿泊サービスを手配します



### 介護 SOS サービスがあって本当に助かりました

90歳になった母の幸子さんと2人で暮らす北詰道子さん。足腰の弱い幸子さんを自分一人で立たせることができなかった時に、サービスを利用しました。「電話一本ですぐに駆けつけてくれました。必要な時に気軽に利用できるのが、助かっています」と道子さん。「他にも安心できるサービスがいろいろあるんですね。詳しく知りたいです」と本市の取り組みに関心を持ってくれました。

## 全国に先駆けた独自の高齢者福祉

# 高齢者と家族に寄り添う 高崎の福祉の取り組みを紹介

市は、全国に先駆けた新しい高齢者福祉に取り組んでいます。介護する人の困り事をすぐに手助けする「介護 SOS サービス」や、GPSを使って行方不明の人を見つける「はいかい高齢者救援システム」など、高齢者とその家族が安心して暮らせるようにするため、さまざまなサービスを実施。今回号では、こうした取り組みについて紹介します。

北詰さん親子と一緒に  
本市の取り組みを見ていきましょう



取り組み  
その④

## ごみ出しをサポートする「高齢者ごみ出し SOS」 訪問して無料でごみを回収します



声かけをしてもらえると、見守りにもつながるわね

ごみ出しが困難な世帯のごみ出しをお手伝いします。週1回、決められた曜日に、市が委託した業者が利用者宅を訪問。声かけをしながら、玄関先などあらかじめ決められた場所に置かれたごみを収集します。



対象は、ごみ出しが困難な、次のいずれかの世帯です。

- 70歳以上の高齢者だけの世帯
  - 障害のある人だけの世帯
  - 早朝勤務や単身赴任などで家族の協力が難しく、妊娠中の人か3歳未満の子どもがいる世帯
- 利用を希望する人は、まずは一般廃棄物対策課に相談してください。本人や家族の他、ごみ出しに困っていることを知っている近所の人も申し込みできます。

問 一般廃棄物対策課 (☎027-321-1253)

### サービスの詳細

- 出せるごみ=燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源物・危険物（通常のごみ出しと同じように分別してください）
- 費用=無料

### 来年度開始予定 高齢者力仕事 SOS

市は、高齢者だけの世帯などを対象に、家具などの重いものの移動や粗大ゴミの処分などを気軽に頼める「高齢者力仕事 SOS サービス」を開始します（議会承認後）。サービスの内容や利用方法などについては、決まり次第、広報高崎や市ホームページでお知らせします。

問い合わせは、長寿社会課（☎027-321-1319）へ。

取り組み  
その⑥

## あなたのまちの身近な相談窓口「高齢者あんしんセンター」 困り事や心配事などを気軽に相談



介護のことなら何でも気軽に相談できるので助かっています

高齢者あんしんセンターは、高齢者の日常的な困り事から介護サービスなどの専門的なことまで、幅広く相談を受け付けて支援につながる窓口です。市内29か所に開設しています。職員が自宅へ伺って相談を受けたり、定期的に訪問したりする「出向く福祉」を实践。電話や窓口で相談することもできます。

各センターでは、保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員など専門資格を持った職員が、専門性を生かしながら利用者をサポートします。また、認知症の人

問 長寿社会課 (☎027-321-1319) か  
各地域の高齢者あんしんセンター

やその家族を支えるために、認知症地域支援推進員を配置し、専門の医療機関などと連携。一人一人に合わせた支援につなげます。お住まいの地区の高齢者あんしんセンターは、市ホームページ（右記）から確認できます。



### 家族や近所の人など誰でも相談できます

相談は、高齢者本人や家族はもちろん、離れて暮らす親族や近所の人など誰でもできます。困り事や心配事、ちょっとしたことなどを気軽に相談してください。

取り組み  
その②

## 行方不明を防ぐ「はいかい高齢者救援システム」 徘徊する高齢者をいち早く発見・保護



もし一人で出かけてしまっても、すぐに見つけてもらえて安心ですね

問 介護保険課 (☎027-321-1250) か  
各地域の高齢者あんしんセンター

高齢者が行方不明になった時に、いち早く発見・保護する仕組み「はいかい高齢者救援システム」。

利用者に無料でGPS（衛星測位システム）機器を貸し出します。機器を身に付けている高齢者が行方不明になり、通報が入ると、市が委託した「見守りセンター」が高齢者の現在地を確認。緊急連絡先として登録された家族や介護者に、位置情報を電話やメールでお知らせします。状況に応じて、同センターの職員が現地に向かい保護。24時間365日体制で対応します。

### 機器の貸し出し、捜索や保護は無料です

対象は、市内に在住で、徘徊の心配のある65歳以

上の人がいる家族や介護者です。介護認定は必要ありません。

申し込みは、介護保険課か各地域の高齢者あんしんセンターへ。

機器は重さ25gで、大きさは縦47.5mm×横38.5mm×厚さ11.85mm。かばんに入れたり、専用の靴に付けたりして持ち運べます



取り組み  
その③

## 24時間365日体制で見守る「あんしん見守りシステム」 3つの機器で高齢者を見守ります



これがあれば一人で家にいる時も安心ね

問 介護保険課 (☎027-321-1250) か  
各地域の高齢者あんしんセンター

自宅に設置した「安否確認センサー」と「緊急通報装置」、首から下げられる「ペンダント型緊急通報ボタン」で、24時間365日体制で高齢者を見守ります。一定時間センサーに反応がなかったり、非常ボタンが押されたりするなどの異常があった時に、市が委託した「見守りセンター」がいつでも対応します。同センターは、緊急連絡先として登録された家族や知人、民生委員などへ連絡。状況に応じて、同センター職員が直接利用者の自宅に駆けつけます。

### 機器の設置は無料です

対象は、市内に在住の65歳以上の人だけの世帯です。同居の家族がいる場合でも、65歳以上の人だけになる時間があるなど、条件により対象になります。機器の設置・貸し出しの費用は無料です。

申し込みは、介護保険課か各地域の高齢者あんしんセンターへ。

### ■ 高齢者を見守る3つの機器



#### 安否確認センサー

居間やトイレなど必ず通る場所に設置。一定時間人の動きを検知しない場合は、見守りセンターに異常を知らせます



#### 据え置き型緊急通報装置

台所や居間などに置きます。「非常ボタン」を押すと、見守りセンターにつながります



#### ペンダント型緊急通報ボタン

首から下げて身に着けられます。ボタンを押すと見守りセンターに異常を知らせます